

北っ子 敷島北小学校だより

令和6年8月30日 文責 学校長 増坪広夫

2学期が始まりました

8月30日（金）の朝、台風接近にともない生憎の天気模様でしたが、学校に子供たちの元気な声が響きわたりました。38日間の夏休みを終え、久しぶりに会った友達と笑顔で話をしている姿を見かけ、楽しく充実した夏休みであったことが伺えました。また休み中も大きなケガや病気、事件事故等の報告はありませんでした。あらためて、御家庭での御指導に感謝申し上げます。



さて2学期がスタートしたわけですが、この大きな季節の転換を含んだ2学期は学校として一番長い学期となります。始業式での「今日も暑いね」が終業式には「今日は冷えるね」に変わります。この長い日々の一日一日を積み重ね、どの子にとっても実りある日々となることを願っています。

さて来週9月2日の月曜日は4時間授業ですが、翌日からは普段通りの教育活動が行われます。運動会の取組も始まります。こうした学校のリズムに乗り遅れることがないように、月並みな言葉ですが生活習慣を整え「早寝・早起き・朝ご飯」の奨励を願います。

小さな失敗は大きな失敗を防ぐ

夏休み前の終業式で「新しいことに挑戦すること」「失敗する経験を積むこと」を子供たちにお願ひしました。私の経験になりますが、これまで担任してきた子供たちの多くは「負けること」「失敗すること」を嫌いました。時代は変わってもこうした傾向は変わってないように思います。



例えば、算数などの授業中、問題を解いているときに自分の書いたことが間違いだと気づくとそれぞれ「跡形もなく消しゴムで消す」という子が多くいます。「授業で間違いをする」ことは良くないことと考えている節さえ感じられます。間違いや失敗することを極端に恐れて身動きが取れなくなるといったことも時にありますが、こうしたことが原因かもしれません。

教師の中には、消しゴムは「文字の書き間違いなど必要最低限の時のみ使う」ように指導している人もいます。これは大きな失敗を避けるためにも小さな失敗はたくさん積み重ねるべきだと思っているからです。子供たちには「ノートの間違いは宝物だから残す」ように指導していきます。

人間的に値打ちのあることは「めんどくさいこと」

これは映画「男はつらいよ」の監督、山田洋次さんの言葉です。

「私はよく人間的に値打ちのあるものは、みんなめんどくさいことではないかなというふう思うのですけれどもね。恋愛なんか実にめんどくさいゴチャゴチャしたことだし、本来教育なんていうのは、いちばんめんどくさいことでなければいけない。」

教育がめんどくさいのは、たえず人との関わり合いの中で行われる行為だからです。しかし、この「めんどくさい行為」を通してこそ人間として成長していけるのもまた事実です。

新学期になって子供たちは、家庭や教室で新たな目標を立てると思いますが、その目標が良い意味で「ちょっとめんどくさい」ものであることを期待しています。



やってみせ 言って聞かせて させてみて 褒めてやらねば 人は動かじ

ただ教師が黙って見ていて失敗だけ繰り返すだけでは指導者たりえません。

この言葉は自衛隊のイベントでもらった団扇に書いてあったものですが、軍人、山本五十六の名言として知られています。現代語訳すると、「まずは実際に自分がやって見せて、しっかりと説明をして理解してもらい、その後実践させること。そして、その行為を褒めてあげなければ人を動かすことはできない」という意味です。軍人として多くの部下を統率してきた彼の言葉は、今や多くの経営者や指導者の格言として知られています。

また、この言葉には続きがあり「話し合い耳を傾け承認し、任せてやらねば人は育たず。やっている姿を感謝で見守って信頼せねば人は実らず」という続きがあります。

整理すると、このような意味になります。

- ① ただ「やってみろ」というのではなくお手本を見せる。
- ② 的確な指示を出し、何のためにやるのかを明確に説明する。
- ③ 言いたいことを言うだけでなく、話を聞いてあげる。
- ④ 信頼して見守り、仕事を任せる。
- ⑤ 頑張りに感謝し、褒めてあげる。



人とつきあっていくために必要なこと

「失敗してもいい」とはとっても人間関係になると話は変わってきます。かなり昔の話ですが、担任をしていたときに民間の研修会でいただいた資料の中に書かれていた内容です。あらためて見直してみると、とても大事な内容のように思えます。自分でいくつぐらい及第点がつけられるのか子供たちに聞いてみたいものですが、むしろ私たち大人が自分自身に問うてみる必要もありそうです。

【15の大切なこと】

- ① 友だちのいいところを見つける。わるいところはみつけても言わない。
- ② 同じ意見には「自分と同じだ」と考え、ちがう意見には「自分とはちがうけどすごい」と考える。
- ③ 自分の意見を言う時は、理由といっしょに言う。
- ④ 友だちが失敗した時、こまっている時こそ友だちのいいところをさがして伝えてあげる。
- ⑤ こまっていることやなやんでいることを話せる人をみつける。
- ⑥ 「がんばれ」ではなく「がんばったね」「がんばってるね」を使うようにする。
- ⑦ 自分の意見は、からだを使ってあらわすようにする。
- ⑧ うなずきながら話をきく。
- ⑨ おこらない。(しんこきゅう + えがお)
- ⑩ 友だちの「自分でかえられないところ(性別、顔、身長、名前など)」についてからかわない。
- ⑪ 「おまえ」や「こいつ」という言いかたをやめる。
- ⑫ 「なんとかしなきゃ」ではなく「なんとかなるさ」と考えるようにする。
- ⑬ 夢中になれることをいくつもつくる。
- ⑭ ねる前に、今日の自分のいいところをみつけてほめてあげる。
- ⑮ うまいいかなくても あせらない、あきらめない。